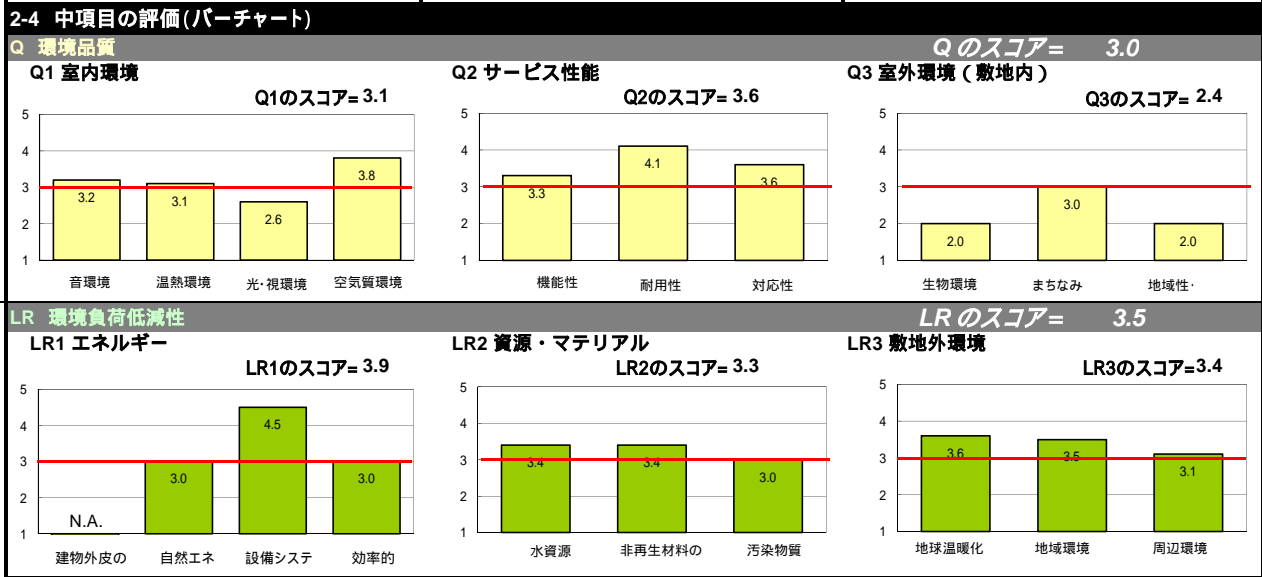
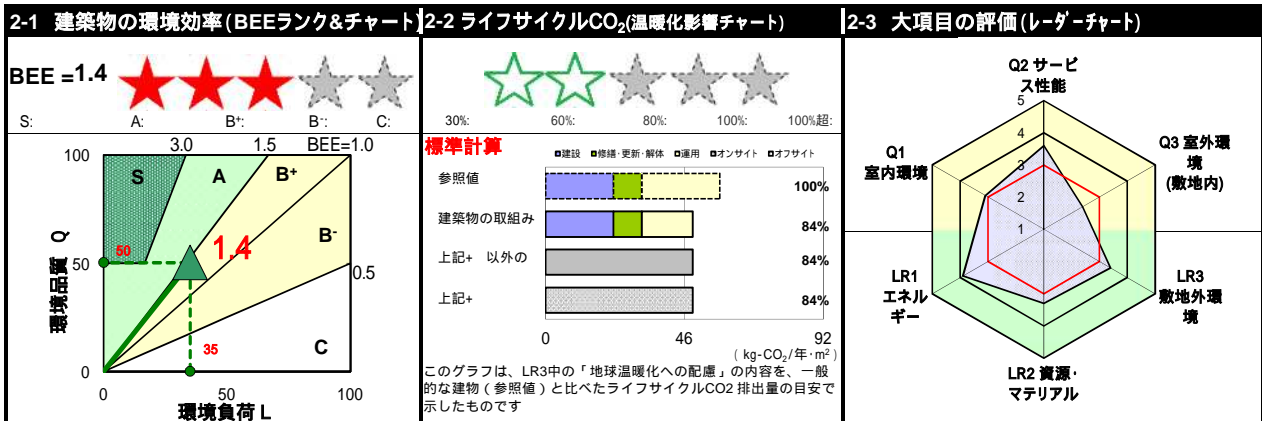


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル2016年版, CASBEE埼玉版2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL草加新築工事	階数	地上5F
建設地	埼玉県草加市松江	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年9月27日
敷地面積	25,984 m ²	作成者	松尾建設株式会社
建築面積	10,290 m ²	確認日	2019年9月30日
延床面積	50,936 m ²	確認者	松尾建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合 地域の歴史や自然などから着想したデザインエレメントを展開し、長期的に使用される物流倉庫としてふさわしい、機能的かつ安全な動線計画を行う。将来的には太陽光発電を屋上に設置し、地域・地球環境に配慮した建物となるように運用していく。		その他 0
Q1 室内環境 ・開口部には遮音性能の高い建具を採用した。 ・シックハウス対策として使用する材料はすべてF☆☆☆☆。 ・各階に喫煙室を設置し、施設利用者の空気室環境に配慮。	Q2 サービス性能 ・事務室の天井高を3.0mとし、執務スペースの快適性を高めた。 ・耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図る。	Q3 室外環境 (敷地内) ・建物の形状や色彩について周辺環境に配慮した計画とした。 ・敷地内にできる限りの緑地スペースを計画。
LR1 エネルギー ・外壁材に断熱サンドイッチ金属パネルを採用し、断熱性能を高めた。 ・LED照明器具の採用により、エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル ・再生クラッシュランなどリサイクル材を採用し、資源保護に努めた。 ・自動水栓や節水型の衛生器具を採用し、節水に努めた。	LR3 敷地外環境 ・敷地内に適切な量の駐輪場と駐車場を確保。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)DPL章加新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C

評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.30		-		3.1
1 音環境				3.2	0.15		-		3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット 天井:ロックウール吸音板		4.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.1	0.35		-		3.1
2.1 室温制御				3.2	0.50		-		
1 室温		外壁 = 1.03 屋根 = 0.469 窓SC=0.45、U=2.6		3.0	0.38		-		
2 外皮性能				4.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.6	0.25		-		2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口							-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気環境				3.8	0.25		-		3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		規制対象品は全てF		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.3	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		汚染源のない方位、かつ6m以上の離れ		4.0	0.33		-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		各階に喫煙室設置、単独換気扇設置		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.6
1 機能性				3.3	0.40		-		3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-		
1 広さ感・景観		1階事務室天井高 3.0m		5.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		休憩室(5階食堂・売店)250.48㎡+自販機設置		5.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		床材防汚性の高い材料(抗菌仕様) 床面は適度な水を使用して洗浄可能 埃の溜まりにくい設計(巾木床材立上げ) 風除室内で自動扉が感知しない距離確保 大きく異なる床材の接近なし ・事務室(タイルカーペット) 便所等(ビニル床シート) 外壁面は耐候性の高い塗料を使用 外部鉄部は溶融亜鉛メッキ		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				4.1	0.30		-		4.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				5.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		50%増の耐震性		5.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		免震建築物		5.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管B(硬質塩ビライニング鋼管) 給湯管B(耐熱性塩ビライニング鋼管) 汚水・雑排水管B(硬質塩ビ管)		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		






3 対応性・更新性		3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高平均6.55m	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比 0.059(1階)	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.65	4.5	0.63	-	-	4.5
4 効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	自動水栓+大便器洗浄水量4.8L/回	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン。	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	・躯体と仕上材が比較的容易に分別可能(GL工法) ・再利用できるユニット部材(OA7フロー)	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	CO2評価値/参照値の割合(84%)	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止	燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	・駐車場、駐輪場確保 ・荷捌き車両用駐車スペース確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策ガイドラインのチェックリストの一部を満たす ・広告物照明の光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要			
建物名称	(仮称)DPL草加新築工事	BEE	1.4
		BEEランク	

2 重点項目の評価			
ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア			
3.6	+	2.3	= 5.9 
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    

3 重点項目についての環境配慮概要			
(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
外壁材に断熱サンドイッチ金属パネルを採用し断熱性を高めた。また空調室の一部で全熱交換機を設置することで空調負荷の低減を図った。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
敷地内に緑地、樹木を計画し、周辺環境や景観に配慮した。			

 : 入力欄